

## 財務省行政事業レビュー（外部有識者会合）議事概要

---

1 日 時：令和8年6月11日（木）13：54～17：19

2 場 所：財務省第1特別会議室

3 出席者

財務省選任外部有識者（敬称略、五十音順）

尾花 眞理子（弁護士：モリソン・フォースター法律事務所）

梶川 融（公認会計士：太陽有限責任監査法人会長）

持永 勇一（教授：早稲田大学大学院会計研究科）

財務省

湯下 大臣官房政策立案総括審議官、松田 大臣官房企画調整総括官、

三上 大臣官房会計課調整室長、溝下 大臣官房会計課会計調査官、

川路 理財局国有財産調整課長、石黒 国際局開発政策課開発政策調整室長、

井田 関税局監視課長、水沼 関税局調査課企画官、高橋 大臣官房信用機構課長、

三上 国税庁課税部酒税課酒類業振興・輸出促進室長、

西尾 国税庁長官官房会計課長 ほか

4 議事次第

(1) 開会

(2) 外部有識者会合による対象事業の点検

【点検対象事業】

- ① 公務員宿舍の建設等及び維持管理に必要な経費
- ② 独立行政法人国際協力機構有償資金協力部門への出資
- ③ 麻薬探知犬整備等経費
- ④ 世界税関機構（WCO）アジア・大洋州地域情報連絡事務所（RILO・AP）に係る拠出
- ⑤ 地震再保険事業
- ⑥ 日本産酒類の競争力強化・海外展開推進事業

(3) 閉会

---

〔議事概要〕

- 点検対象事業について、各担当課長等から事業概要説明
- 外部有識者による点検（質疑・議論）
- 外部有識者からのコメント及び外部有識者の所見

外部有識者からのコメントを踏まえ、「外部有識者の所見」として以下のとおり、とりまとめた。

### ① 公務員宿舍の建設等及び維持管理に必要な経費

#### 外部有識者からのコメント

- ・ 国家公務員の職務の効率的な遂行の確保を目的とする場合、アウトカムとして、利用

者の視点からのアウトカム、例えば、利用満足度や入居者希望数を母数にした入居者数割合を設定することも検討してはどうか。

- ・ 利用者のニーズに沿った宿舍のあり方を踏まえ、必要な宿舍の確保に向けて効果的な取組が行われているものとする。宿舍の確保の必要性の高さは、転勤を要する遠隔地だけでなく、居住の安定性が確保しにくい定期借家の割合が上昇している地域に認められると思われるので、改修・リノベーションの対象選択の際に考慮してはどうか。
- ・ 人件費・物価上昇の影響を受けやすい維持管理業務が複数年契約にて調達される場合、物価スライド条項の利用やその適用指針の公表により、適正な競争環境を確保してほしい。
- ・ 工事原価高騰の状況下で適切に事業計画を見直し、進捗管理が有効に行えるように検討してほしい。
- ・ 集約建替においては、跡地売却価格の上昇も見込まれると思われるので、効果的に建替えをする計画が望まれる。
- ・ 職員の需要動向の変化を適時、適切に計画に反映してほしい。

#### 外部有識者の所見

利用者の需要動向や居住安定性の確保という観点も踏まえつつ、引き続き、必要な宿舍の確保に向けた取組を進めるとともに、効果検証にあたっては利用者視点からのアウトカムを設定することも検討してはどうか。また、工事原価が高騰する中で、適切に事業計画を見直し、進捗管理を有効に行うこと。

人件費や物価上昇の影響を受けやすい維持管理業務を複数年契約で調達する場合には、適正な競争環境を確保することが望まれる。

#### ② 独立行政法人国際協力機構有償資金協力部門への出資

##### 外部有識者からのコメント

- ・ この出資のリターンは、配当等ではなく、有償資金供与先の事業の成功、ひいては JICA 法の目的の一つである「日本及び国際経済社会の健全な発展に資すること」である。有償資金供与先の事業の成功が日本及び国際経済社会の健全な発展に役立っていることを定性的な表現でもよいので長期アウトカムに含めることを検討してもよいと考える。
- ・ 国民からの ODA の見方が厳しくなっている昨今、当該出資による有償資金供与が JICA 法の目的の一つである「日本及び国際経済社会の健全な発展に資すること」に役立っていることを国民に説明できることが重要と考える。
- ・ JICA の財務健全性の確保のためには、民間事業に対する出融資の回収が重要であることから、有償資金供与先の事業実施中において、JICA が当該先に対して行使できる権限及びその行使状況について不断に検証することが重要と考える。
- ・ 金利上昇環境において、政策的要請に基づき JICA が運営されていることについて、出資者評価が適切に行われていると思われる。
- ・ 金利上昇局面にある中で、逆ザヤの円借款が増加することは、JICA の財務健全性にとって懸念材料ではあるが、JICA にとって重視すべき中長期的なインパクトの大きさから考えると、債務国の信用リスク等に関するリスク管理の強化が優先すべき事項であると

考える。現状、この観点からの対応が取られているが、引き続き状況変化に注視していただきたい。

- ・ 長期アウトカムの設定内容は、本事業における特質を適切に反映していると考ええる。

#### 外部有識者の所見

有償資金供与先の事業の成功が、日本及び国際経済社会の健全な発展に役立っていることを定性的な表現でもよいので長期アウトカムに含めることを検討してはどうか。

JICAの財務健全性の確保のため、引き続き、有償資金供与先の事業実施中においてJICAが行使できる権限及びその行使状況について不断の検証を行うとともに、債務国の信用リスク等に関するリスク管理を強化する観点から状況変化に注視することが望まれる。

### ③ 麻薬探知犬整備等経費

#### 外部有識者からのコメント

- ・ 麻薬探知犬配備による効果の高い検査対象物、場所、時間帯の観点から引き続き成果を検証し、効果的な配備に努めてほしい。
- ・ 麻薬探知犬の配備自体、税関の他の施策及び他省庁の行為によっても不正薬物取締りの防あつ効果をもつこと及び非違発見件数の変動が大きいことから、当該配備の効果を検証するために、前年度の摘発件数のみではなく、過去数年の摘発件数の平均値をアウトカム指標とすることを検討してもよいと考える。
- ・ 輸入貨物や訪日外国人旅行者数の増加に鑑み、麻薬探知犬の能力の維持・向上、配備数の増加の取組は適切に行われていると考える。
- ・ アウトカム指標が定量化しにくいことは理解できる一方、アウトプット面で、麻薬検知対策の基本方針に基づく目標策定も検討してほしい。
- ・ 国民の安心・安全な生活環境を守るために違法薬物等の水際での取締りは必要不可欠であり、麻薬探知犬の配備と活用は、有効かつ効果的な手段であると理解しており、さらなる充実が望まれる。短期アウトカムは、非違発見件数の対年度増加を直接的に目指すものであり、事業の効果発現の指標として評価できる。
- ・ 麻薬探知犬を計画的かつ効果的・効率的に配備・活用するために、管轄する訓練センター一室にて一括して訓練し、最終評価を経て購入するなど、一連の事業運営は適切に行われていると考える。

#### 外部有識者の所見

麻薬探知犬の配備・活用は、違法薬物等の水際対策として有効かつ効果的手段であり、能力の維持・向上や配備数の増加、訓練等を含む事業運営は適切に行われていると考える。検査対象物や場所等の観点から引き続き成果検証を行い、効果的な配備・活用に努めること。

短期アウトカムは、非違発見件数の対年度増加を目指すものであるが、外的要因による変動が大きいことから、より適切なアウトカム指標の設定や、アウトプット面における麻薬検知対策の基本方針に基づく目標の策定についても検討することが望まれる。

#### ④ 世界税関機構（WCO）アジア・大洋州地域情報連絡事務所（RILO・AP）に係る拠出

##### 外部有識者からのコメント

- ・ アウトカムを情報分析結果の発出件数だけでなく、質的評価の観点（日本にとって新規性の高い情報か、メンバー国の満足度等）、難しいと思うが、成果に関する数量的観点（当該情報が検査・調査に実際に利用できたか、違反の発見に役立ったか等）からの指標設定も検討してもよいと考える。
- ・ RILO・AP 招致による密輸情報収集と、アジア・大洋州の 17 の税関相互支援協定等による密輸情報収集との差別化の観点から、RILO・AP 招致の有効性を国民に説明することが重要であると考えます。
- ・ 国際機関の地域組織の事務所として積極的に活動することは極めて有意義なことと思われる。
- ・ 密輸に関して直接的な取締効果を定量目標とすることは難しく、アウトプット指標である分析報告書等の発出件数で代替することは理解できる。但し、情報分析の内容の評価には十分に留意してほしい。
- ・ 国際貨物、郵便及び旅客が膨大に、かつ増大する中で、取締り・摘発を行う人的資源等は限られるため、違法薬物等が密輸されるリスク評価の高度化が、最も合理的かつ重要であると理解する。
- ・ 密輸等が国際的なサプライチェーンによって、かつ、手口が巧妙かつ複雑になってきていると懸念されることから、広域でのリスク情報による取締り・摘発が求められる。アジア・大洋州地域における密輸関連情報の提供や共同オペレーションは、密輸取締りの有効な手段になっていると考える。
- ・ アウトカムの設定内容は、密輸関連情報の提供が双方向に行われ、各国の取締機関の意識づけと取締りのレベルが高まることに資すると考えられ、合理的である。

##### 外部有識者の所見

国際的なサプライチェーンの発達により、密輸等の手口の巧妙化・複雑化が懸念される一方、膨大な国際貨物等に対して取締り・摘発を行う人的資源は限られていることから、広域でのリスク情報を活用した取締り等に資する RILO・AP の取組は合理的かつ有効であると考えます。税関相互支援協定等との差別化の観点から、RILO・AP 招致の有効性を国民に説明していくことが重要である。

密輸に係る取締効果の定量化が困難であることは理解できるが、質的評価の観点や成果に関する数量的観点からの指標設定も検討してはどうか。

#### ⑤ 地震再保険事業

##### 外部有識者からのコメント

- ・ 地震の際の保険金支払いは迅速に行われており、地震保険法の目的である「被災者の生活の安定への寄与」に役立っている。
- ・ 地震保険の認知度を高めるために、引き続き他省庁との連携を続けてほしい。

- ・ 保険に対する考え方及び利用する情報媒体の世代毎の違いの分析を通じて、適切な広告の内容及び媒体の選択に引き続き努めてほしい。
- ・ 地震再保険制度の運用について適切にモニタリングされていると思われる。
- ・ アウトカム指標は現状において適切なものと思われる。
- ・ 地震保険に係る再保険事業は、政府の信用に基づき、超長期の観点から成立し得ると考えられることから、短期及び中期でのアウトカムの設定は事業の趣旨に合致せず、また、長期アウトカムは、再保険制度の趣旨に資する指標であると理解する。
- ・ 地震保険に関しては、地震保険加入率や保険金の支払速度に加え、加入促進活動等が重要なチェックポイントになると理解するが、例えば、福島県沖地震に関する保険金支払い状況を見ると適時・適正に行われており、また加入促進活動も適切に行われていると認められる。

#### 外部有識者の所見

地震保険については、地震保険加入率や保険金の支払速度に加え、加入促進活動等が重要なチェックポイントであると考え、福島県沖地震に関する保険金支払いは適時・適正に行われており、加入促進活動も適切に実施されていると認められる。また、アウトカム指標は現状において適切なものとする。

地震保険の認知度向上に向け、引き続き、他省庁との連携を図るとともに、世代毎の特性を踏まえた広告内容及び媒体の選択に努めること。

### ⑥ 日本産酒類の競争力強化・海外展開推進事業

#### 外部有識者からのコメント

- ・ アウトカムに係る各指標は、事業の性質に応じて、事業の効果を検証する観点から適切なものとなっていると考える。
- ・ 酒類業の健全な発展の促進を最終目的とする事業であることから、事業の多角化として、酒類事業者の地域商社的役割や保有する資産の観光資産化を促進させる取組も検討してもよいものとする。
- ・ 各事業ごとのアウトカムを設定し効果検証をしており、妥当なものと思われる。但し、効果検証において事業の効果の持続性についてもモニタリングしてほしい。
- ・ 短期アウトカムから長期アウトカムへと連動して、日本産酒類の輸出促進と業界の活性化等を目指す指標となっていると考えられる。しかし、501 の長期アウトカムに関して酒類事業者全体のレベルアップを図るとの観点からは、例えば「輸出金額が成長した事業者の割合を 60%以上」ではなく、施策参加事業者全体の輸出金額の増加などを指標とすることが考えられる。
- ・ 酒類事業者は中小規模が多いなかで、国際的なプロモーション、ブランド化推進や輸出促進コンソーシアムのセミナーなど、個々の事業者では実施できない取組が行われており、全体としての酒類事業者の事業継続にプラスの効果があると考えられる。

#### 外部有識者の所見

酒類事業者の大半が中小規模である中、個々の事業者では実施困難な取組が行われてお

り、施策参加事業者の事業継続に資する効果があると考え。その上で、酒類事業者の事業の多角化の観点から、地域商社的役割や保有する資産の観光資産化を促進させる取組も検討してはどうか。

アウトカムは事業の性質に応じて適切に設定されていると考えるが、効果の持続性についても検証することが望まれる。また、長期アウトカムに関して、酒類事業者全体のレベルアップを図る観点から、施策参加事業者全体の輸出金額の増加等を指標とすることも考えられる。

(以 上)